

学校施設配置に関するワークショップのまとめ

門・アプローチ等

- 西側歩道の狭さ：拡張・セットバック、西側に門を設置しない可能性、敷地南西角に門・敷地内に歩道を整備（多数）敷地北西角に門、車両も通れる門
- 通り抜け動線：東と西の門をつなぐ通り抜け動線をやめる
- 正門の位置：正門の確定（集合写真）
- 北門の設置：南成瀬小地域の児童登校のため

建物・校庭・外構配置

- 校舎・樹木：北側道路が死角にならない配置（⇔南成瀬小の通学路）
- 南北に長い配置：西側に窓のある校舎配置はどうか
- 菜園・畑：あるとよい、現プールの場所
- シンボルツリー：楓を残す（多数）
- 駐車施設：台数確保、イベント時の臨時スペース確保、車寄せ
- 駐輪施設：保護者会等への対応

地域利用・避難所

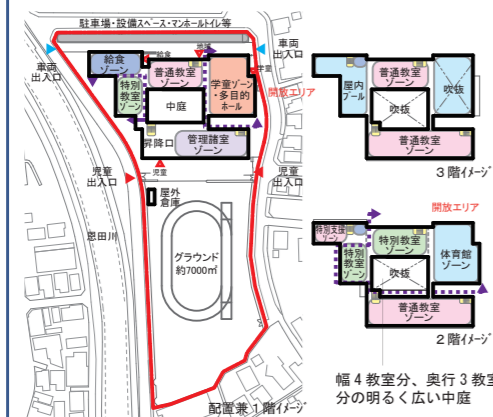
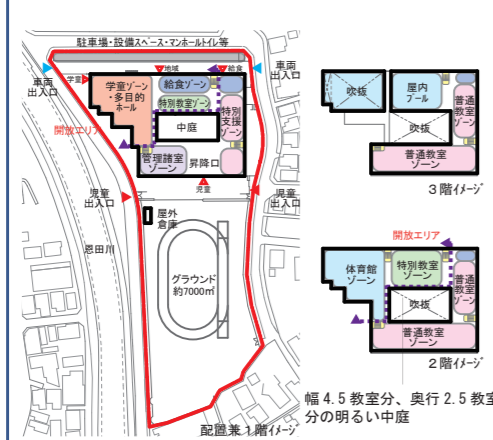
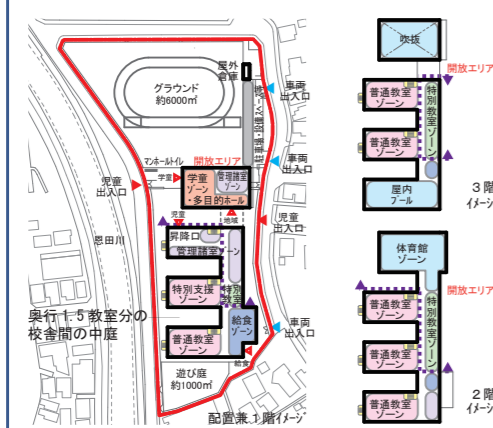
- 防犯対策：地域開放エリアと教室ゾーンを明確に区画（多数）可能な限り地域と児童の玄関・動線を分ける
- 地域施設：地域開放ゾーンは別棟（独立）
- 避難所機能：体育館・特別教室と教室ゾーンを分ける、体育館1階

校舎

- 普通教室：1・2階にまとめなくてよい、校庭側が避難しやすい日当りのよい環境、すべての教室が同じ環境
- 特別教室：1階がよい
- 管理諸室：グラウンドを見渡せる2階（ベランダに階段）
- 放課後活動・地域活動利用室：1階にまとめる
- 校舎の広さ：オープンスペースの充実、充分な集会スペース
- 児童動線・配膳動線：短く、普通教室前を通らない動線
- PTA室：低層階に配置（1階）
- ピロティ部：災害時の避難動線から除外（現状）
- 中庭：不要、広いほうがよい（大勢が遊べる）
- 給食室：普通教室から離れた位置（火災発生を考慮）
- 動線計画：動線を大切に（普通教室・学童・まちとも利用）
- 屋上庭園・ピロティ（雨天時の活動スペース）
- 舗装：グラウンドから昇降口に汚れを持ち込まない

学童・まちとも

- 学童クラブ：グラウンドに面する位置
- まちとも：グラウンドに面する位置、グラウンドに面する出入口
- 昇降口利用：児童・まちとも・学童・来校者

<p>A案</p>  <p>幅4教室分、奥行3教室分の明るく広い中庭</p>	<p>よいところ</p> <ul style="list-style-type: none"> ○教室棟配置：高低差を活かせる ○採光：中庭から光が入る、2階部分 ○グラウンド：南側で明るい、広くなる（既存プール跡、野球利用可能） ○学童玄関：地域玄関と区画された動線 ○グラウンド：貯水機能を持つ ○学童クラブ：東側に配置 <p>気になるところ</p> <ul style="list-style-type: none"> ▲普通教室：2・3階にまとめたい（他3意見） ▲体育館の安全性：四角ではない ⇒※競技スペースは四角 ▲車両出入口：西側ではなく、北側に設けたい（道路渋滞、学童の迎えで道を塞ぐ） ▲近隣との関係：北側の団地との視線に対策が必要 ▲校舎建設範囲：既存と変わらない（多目的スペースを増やすのに足りるか） ▲廊下：北側に廊下を配置したほうがよい ▲遊び庭：グラウンドに遊び庭がほしい
<p>B案</p>  <p>幅4.5教室分、奥行2.5教室分の明るい中庭</p>	<p>よいところ</p> <ul style="list-style-type: none"> ○普通教室：明るい場所に集中 ○教室棟配置：まとまりがあり使いやすい ○採光：中庭から光が入る、2階部分 ○グラウンド：南側で明るい、広くなる（既存プール跡、野球利用可能） ○学童玄関：地域玄関と区画された動線 ○グラウンド：貯水機能を持つ <p>気になるところ</p> <ul style="list-style-type: none"> ▲普通教室：2・3階にまとめたい（他3意見） ▲体育館の安全性：四角ではない ⇒※競技スペースは四角 ▲車両出入口：西側ではなく、北側に設けたい（道路渋滞、学童の迎えで道を塞ぐ） ▲近隣との関係：北側の団地との視線に対策が必要 ▲校舎建設範囲：既存と変わらない（多目的スペースを増やすのに足りるか） ▲廊下：北側に廊下を配置したほうがよい ▲遊び庭：グラウンドに遊び庭がほしい ▲普通教室：全てが同じ向きではない ▲学童クラブ：西側は交通安全上避けたい ▲地域玄関：来校動線が長い（直で入れるよう）
<p>C案</p>  <p>奥行1.5教室分の校舎間の中庭</p>	<p>よいところ</p> <ul style="list-style-type: none"> ○学童とグラウンドの関係：近い ○遊び庭：使い勝手がよい ○防犯：出入口のまとまり <p>気になるところ</p> <ul style="list-style-type: none"> ▲日あたり：心配 ▲廊下：長い（子どもが走りそう） ▲特別教室の使いやすさ：細長い ▲校舎配置：校舎間の音の反響 ▲近隣との関係：グラウンドの声・遊び庭の視線 ▲グラウンド：目が届かない ▲菜園スペースの確保（車両出入口との関係） ▲駐車スペース：広さ、出入口がよくない ▲給食車両：混雑する（医院に近い） ▲安全防犯：遊び庭への教員の目、視線が届かない ▲災害・火災等：教室とグラウンドの距離・出入口のまとまり ▲避難所機能：避難所利用時に特別教室と教室を分ける

①教育環境・生活環境づくり

- ・普通教室を明るく採光のとれる位置に配置とする
- ・普通教室をできるだけ同じ環境とする
- ・災害時に、普通教室からの避難のしやすさを考慮した配置とする
- ・北側団地、東側住宅との視線の交錯に配慮する
- ・できるだけ広いグラウンドを確保する
- ・教員の目が届くグラウンド・校舎の配置とする
- ・低学年専用の遊び庭の設置を検討する
- ・菜園や畑を設置する
- ・シンボルツリー（楓の木）を残すことを検討する
- ・オープンスペースの充実や集会スペースの確保する
- ・普通教室前を通らない動線を確保する
- ・雨天時に活用できる半屋外のスペースを確保する

②放課後活動の拠点づくり

- ・グラウンドと行き来しやすい学童保育クラブ、まちどもの出入口とする
- ・地域活動室を1階に配置する

③市民生活の拠点づくり

- ・できるだけ多くの駐車可能台数を確保する
- ・イベント時の臨時駐車スペースを設定する
- ・イベント時に屋外で自由に使えるきれいなトイレを確保する
- ・地域開放エリアと教室エリアを明確に分ける
- ・階段を上りづらい人でも避難できる避難スペースを確保する

④安全性の確保

- ・児童出入口と地域出入口、車両の出入口を明確に分け、歩車分離を行う
- ・駐車場の出入口は車通りの多い西側を避けて設ける
- ・西側歩道の狭さの解消のため、南西角・北西角に門を設け校庭の舗装通路を設ける、または西側歩道を拡幅する
- ・北側からの通学する児童増を想定し、北側道路が死角にならないように配慮する
- ・児童を送迎できるよう車寄せスペース等を用意する